

安全報告書 2018



株式会社札幌振興公社 安全報告書

藻岩山ロープウェイ（複線交走式普通索道）
大倉山ジャンプ競技場リフト（単線固定循環式特殊索道）

平成29年度分

（2017年度分）

目次

	利用者の皆様へ	1
1	安全方針	1
2	安全重点施策	2
3	事故等の発生状況	2～3
	3-1 索道運転事故	2
	3-2 インシデント	2
	3-3 強風・雷・大雪による運休の状況	3
4	輸送の安全確保のための取組み	3～8
	4-1 安全統括会議及び現場巡回	3
	4-2 安全教育	4
	4-3 安全重点施策への取組み	5～8
	4-4 その他の取組み	8
	4-5 平成30年度整備計画	8
5	安全管理体制	9
	5-1 安全管理体制	9
	5-2 ご意見をお寄せ下さい	9

利用者の皆様へ

株式会社札幌振興公社の索道事業に対して、日頃のご利用、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

2015年10月に札幌市が日本新三大夜景に認定された効果やアジアを中心とした外国人観光客からの北海道人気もあり、藻岩山及び大倉山を訪れるお客様は年々増加傾向にあります。

また、近年は自然災害などによる事故やトラブルが懸念される中で、安全・安心の確保に積極的に取り組んでまいりました。

今後もスタッフ全員が一丸となり、安全で快適な輸送を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社

代表取締役社長 板垣 昭彦

1

安全方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行い、「安全方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しています。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正・忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時はもつとも安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

安全方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため、平成29年度の安全重点施策を次のように策定しました。

《目標1》「安全が最優先」「安全が最高のサービス」を浸透させます。

- (1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施
- (2) 安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）による業務改善

《目標2》安全と効率の向上を図るため、仕事をしやすい職場環境を整えます。

- (1) 「5S活動」への取り組み

《目標3》安全で安定した運行のための業務改善に取り組みます。

- (1) 自然災害関係のマニュアルを整備し、対応を明確化
- (2) 主要機器の経年劣化に対応した計画的整備の実施
- (3) お客様の多様化や技術革新に対応するために人材を育成

3-1 索道運転事故

平成29年度は索道運転事故の発生はありませんでした。

3-2 インシデント

索道運転事故の発生する恐れがあると認められる事態のことで、平成29年度はインシデントの発生はありませんでした。

3-3 強風・雷・大雪による運休の状況

(1) 藻岩山ロープウェイ

終日運休 9日間（103時間30分）
一時運休 25日間（128時間00分）

(2) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休 5日間（41時間30分）
一時運休 11日間（22時間10分）

4 輸送の安全確保のための取組み

4-1 索道安全統括会議及び現場巡回

平成27年4月から開催の索道安全統括会議も3年が経過し、安全確保に必要な情報や取り組みなど、会議で話し合われた内容を周知し共有することで、社員一人一人の安全に対する意識・姿勢が高まっております。

(1) 索道安全統括会議

安全統括会議は、社長をはじめとする本社の経営層部門と現場で索道を運行する藻岩山事業部及び大倉山事業部の実務担当責任者で構成し、安全統括管理者が議長となって毎月定例的に開催しています。

この会議には、運行・整備状況の月次報告、事故・トラブルに関する報告と対策や現場から収集したヒヤリ・ハット情報などに基づく対策・効果の検証の他、運輸安全マネジメントに関する研修などを行っています。



毎月開催している安全統括会議

(2) 現場巡回

経営層による現場巡回を計画的に実施し、経営トップから安全に関わる方針などを訓示して周知するとともに、直接対話を行うことで意見・要望を収集しています。

平成29年度の計画的な現場巡回は、ゴールデンウィーク期間中、夏の繁忙期、年末年始の繁忙期、雪まつり期間中に実施し、さらに重大事故を想定した現場での訓練も経営トップが参加して評価を行いました。



藻岩山ロープウェイの現場巡回

4-2 教育訓練

(1) 定期教育

指差呼称や機械装置の取り扱いの基本動作を徹底するための集合教育、安全管理規程、運転取扱細則、整備細則等の再教育を目的とした勉強会、過去の事故等の例を題材にした研修などを、施設の整備（12月検査等）に伴う営業休止期間中や運休時に実施しました。



(整備期間 H29. 11. 28)



(整備期間 H29. 4. 20)

(2) 接遇研修

お客様の多様化にも対応した接遇や外国語についての研修を実施し、安全・安心・快適な索道施設を目指した取り組みを進めております。

藻岩山ロープウェイ

実施日：H29. 11. 28

大倉山ジャンプ競技場リフト

実施日：H30. 3. 16

(3) AEDの設置・救命講習・消防訓練

各施設にAEDを設置するとともに、毎年（公財）札幌市防災協会や消防による普通救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用、止血法）を受講しています。消防訓練については、夏と冬の2回実施しています。

【藻岩山ロープウェイ】



普通救命講習（実施日：H29. 11. 30）

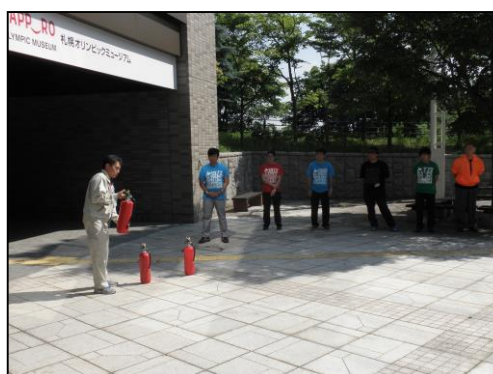
【大倉山ジャンプ競技場リフト】



普通救命講習（実施日：H29. 4. 12～ 4. 14）



消防訓練（実施日：H29. 7. 3、11. 30）



消防訓練（実施日：H29. 7. 7、H30. 2. 7）

4-3 安全重点施策への取組み

(1) 基本動作を徹底するための教育訓練の実施

① 研修や訓練、経営トップによる現場での訓示、日常のミーティング等で基本動作を徹底するための取組みを継続しました。

【藻岩山ロープウェイ】



ロープウェイ緩降機による救助訓練
(実施日：平成29.11.30)



予備原動機による救助訓練（隔月ごと）

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



リフトからの救助用具による救助訓練
(実施日：平成29.4.20)



平成29年10月リフトミーティング

② シフト勤務であっても全員が安全関係情報を同じように受け取れるようにするため、「安全への取組み」の隔週発行を継続しました。

平成29年度の「安全への取組み」で取り上げたテーマ

- ・「平成29年度の安全重点施策」について
- ・「5S活動への取組み」について
- ・ハインリッヒの法則
- ・「5S活動」の計画的な進め方
- ・「第90回全国安全週間」について
- ・「ソフトターゲット」のテロ対策
- ・北海道の索道事故等の状況について
- ・ルール違反を繰り返すのはなぜ？
- ・「安全標語」のことについて
- ・指差呼称が定着するために
- ・ヒヤリ・ハット情報への取組み
- ・「ヒューマンエラー」について
- ・故障の発生を防ぐために
- ・「平成28年度の索道運転事故」について
- ・「平成28年度のインシデント」について
- ・「平成28年度の機械故障」について
- ・「平成28年度の労働災害事故」について
- ・年末年始の輸送等に関する安全総点検
- ・「平成29年度安全重点施策」の進捗状況
- ・ヒヤリ・ハット情報（労災関係）について
- ・ヒヤリ・ハット情報の検討[藻岩山関係]
- ・索道事業者の法令遵守などの問題点

- (2) 安全マネジメントシステム（PDCAサイクル）による業務改善
 現場から収集したヒヤリ・ハット情報について、原因の分析、対策案、緊急度、費用などを安全統括会議に諮って対応策を決定しました。
 対策の実施後は効果の評価や見直しを行うこととしており、「PDCAサイクル」を実感できるように取り組みを進めています。

【大倉山ジャンプ競技場リフトの例】

[ヒヤリ・ハット情報] 山頂降り場付近で段差に足が引っかけたり転倒しそうになった
 [原因の検討] 施設側の構造、乗客側の問題点を整理
 [対策の検討] 説明方法の改善、看板設置などを検討
 [対策の実施] わかりやすい図を設置して効果を観察



わかりやすい図にした看板（山頂駅舎壁に設置）

図は、数種類を試作して繰り返し検討した。「段差注意、足を上げてください。」の説明を4か国語で表記した。

- (3) 「5S活動」への取り組み
 「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰（しつけ）」を意識する活動を展開し、毎日の仕事をしやすい環境を整え、より安全・安心・快適な輸送を目指しました。初年度は、身近な部分の整理・整頓に重点を置いて取り組みました。



各事務所及び休憩室に掲示



事務所内に設置

- (4) 自然災害関係のマニュアルを整備し、対応を明確化
 豪雨や強風による被害の発生防止・軽減を目的とし、関連資料も集約した、「風水害対応マニュアル」を作成しました。

風水害マニュアルの構成

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 目的 | 6 風水害発生時に想定される影響 |
| 2 風水害に備えることの必要性 | 7 土砂災害危険箇所 |
| 3 風水害への対応の基本 | 8 土砂災害の種類と前兆現象 |
| 4 発表される気象情報など | 9 索道施設の支柱の強度 |
| 5 過去に発生した風水害 | 10 外国人旅行者への対応 |

(5) 主要機器の経年劣化に対応した計画的整備の実施

藻岩山ロープウェイについては山麓・山頂駅場内の受索輪10輪の分解整備や装置油圧ユニットの整備、大倉山リフトについては索条交換及び非常制動機の整備を実施しました。

【藻岩山ロープウェイ】



山麓・山頂受索輪の分解整備



制動装置油圧ユニットの整備

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



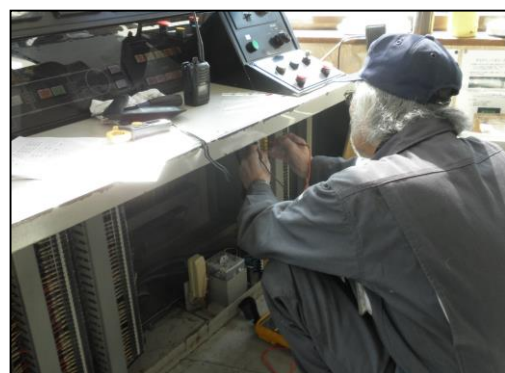
索条交換



索条交換



非常制動機更新



運転盤内点検及び清掃

(6) お客様の多様化や技術革新に対応するために人材を育成

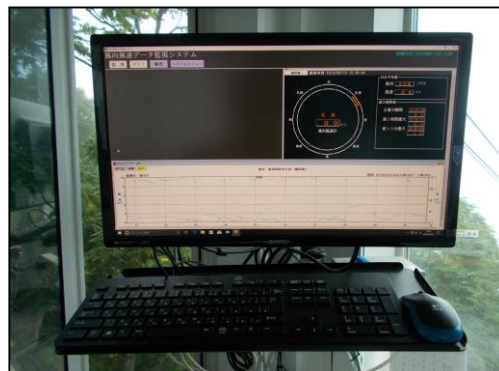
電気の技術関係、危険物取扱関係、夜景観賞関係の資格を取得するための取り組みを開始し、職員のスキルアップを図りました。

4-4 その他の取り組み

(1) 風向風速記録装置の設置

風向の変化や強風の発生頻度などを表示・記録し、運休や運行再開判断の参考にするとともに、運転の教育資料としても活用しています。

【藻岩山ロープウェイ】



(2) 乗降場の安全対策等

中腹駅ホームの乗降時における雨や雪の吹き込みを防ぎ、ホームの積雪・凍結を防止することで、お客様の安全性・快適性と係員の除雪作業の軽減などを目的にフードを設置しました。

【藻岩山ロープウェイ】



4-5 平成30年度整備計画

主要機器の経年劣化に対応するための整備として、平成30年度は次の事業を計画しています。

【藻岩山ロープウェイ】

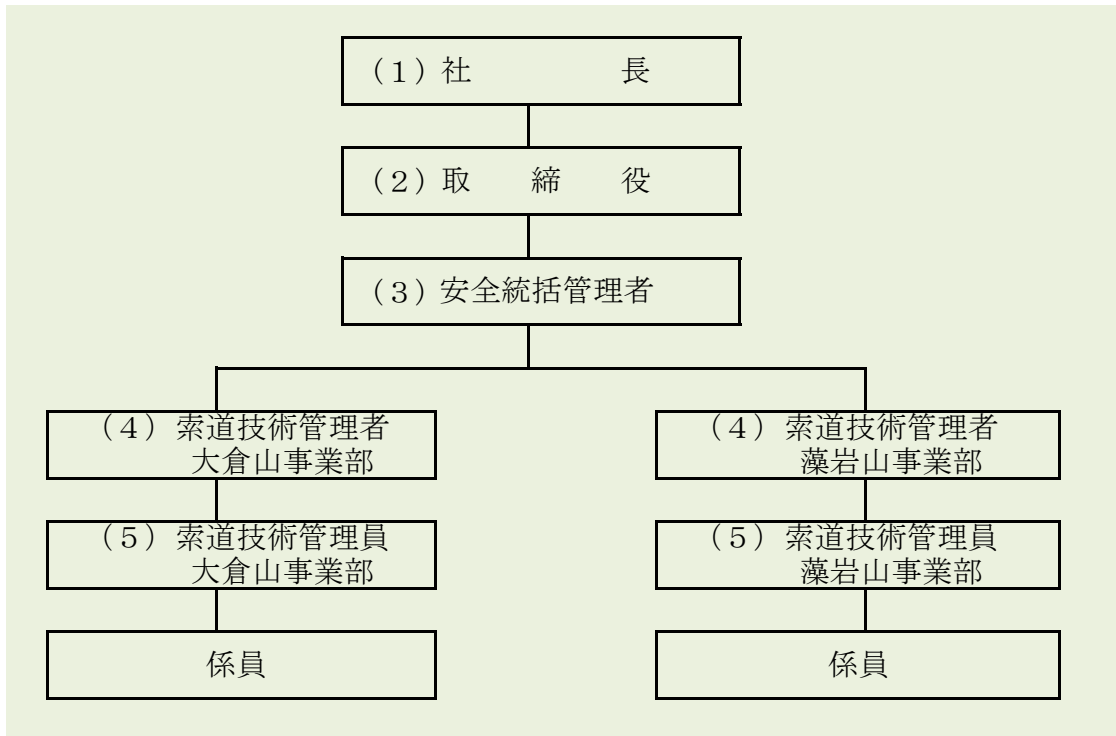
- (1) 支柱の受索輪分解整備
- (2) 懸垂機の受索輪分解整備

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

- (1) 緊張装置シリンダー更新
- (2) ユニバーサルジョイント更新
- (3) 索条切詰工事

5-1 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



- (1) 社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
 (2) 取締役 設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
 (3) 安全統括管理者 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
 (4) 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
 (5) 索道技術管理員 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5-2 ご意見をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

藻岩山事業部 TEL (011) 561-8177
 (藻岩山ロープウェイ) FAX (011) 561-8178
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
 (大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901
 HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>